

平成30事業年度決算の概要

独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構
Japan Expressway Holding and Debt Repayment Agency

トピックス ～損益の状況～

1. 経常収益 **2兆1,014億円** (前年比+417億円)

- 道路資産貸付料収入は、交通量の堅調な推移により2兆679億円 (前年比+463億円) となりました。

2. 経常費用 **1兆4,295億円** (前年比+267億円)

- 道路資産貸付業務費は、資産引受の増加により1兆321億円 (+279億円) となりました。
- 財務費用は、現下の低金利状況を活かした資金調達を行ったことにより3,080億円 (前年比▲280億円) となりました。

3. 経常利益 **6,718億円** (前年比+149億円)

- 道路資産貸付料収入の増加、財務費用の減少により費用を微増に抑えた結果、経常利益が増加しました。

トピックス ～資産・負債の状況～

4. 資産総額 **43兆2,102億円** (前年比+2兆3,094億円)

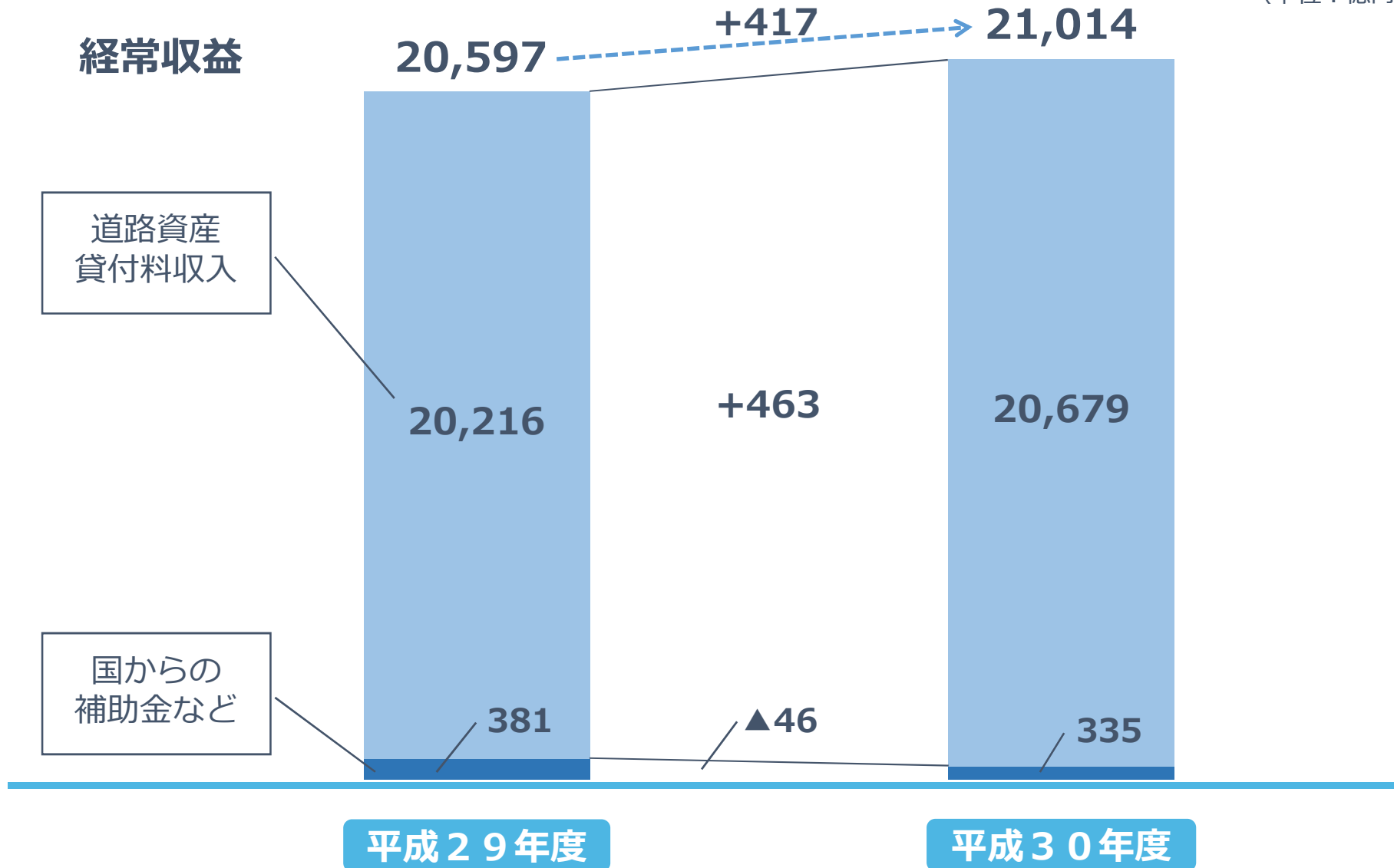
- 流動資産は、財政融資資金1兆5,000億円を借入れたことにより1兆8,363億円（前年比+1兆2,996億円）となりました。
- 固定資産は、東京外かく環状道路（三郷南～高谷JCT）の開通など大規模な新規供用があり、資産引受額が増加したことにより41兆3,739億円（前年比+1兆98億円）となりました。

5. 負債総額 **30兆3,097億円** (前年比+1兆6,575億円)

- 負債は、債務引受額が過去最大の2兆1,956億円だったこと、また財政融資資金1兆5,000億円を借入れたことにより増加しました。
- これらを踏まえた上で、債務の確実な返済を確認しています。

経常収益の前年比較

(単位：億円)

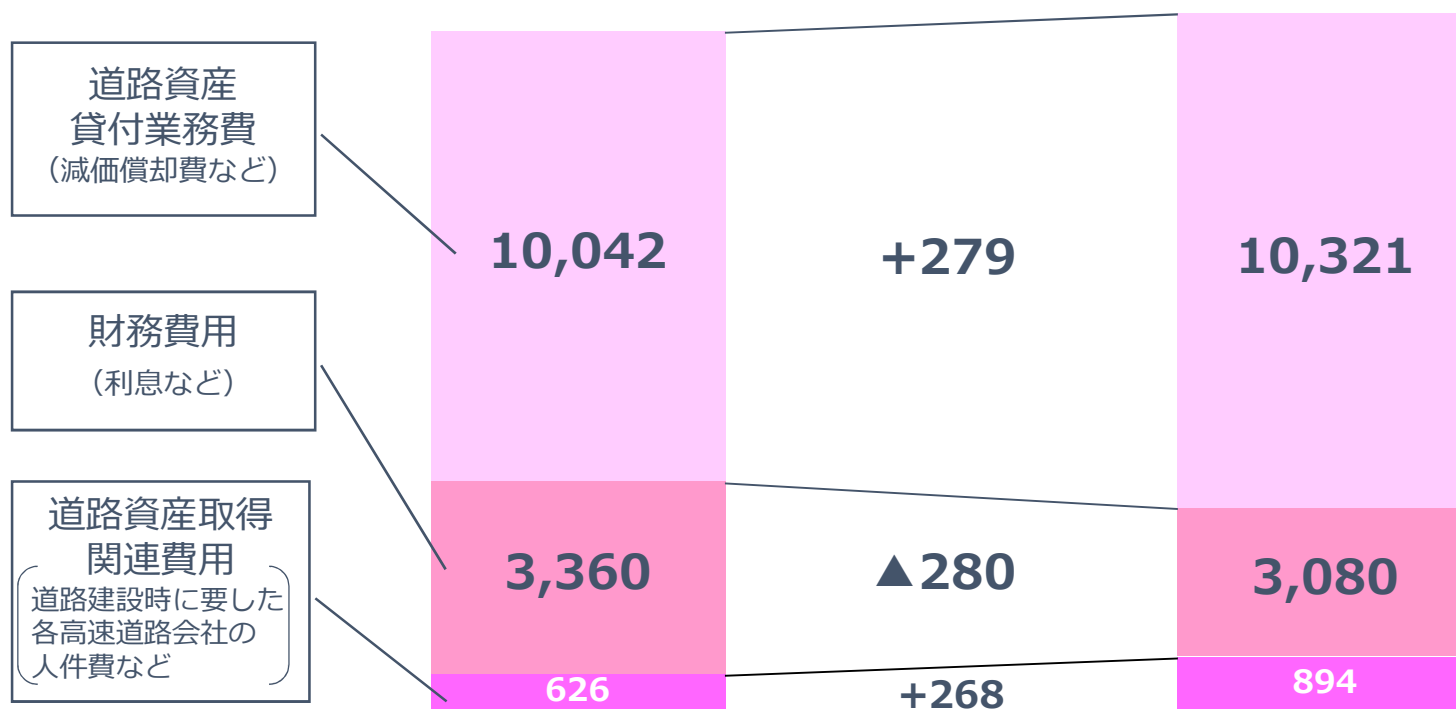


経常利益と経常費用の前年比較

(単位：億円)

経常利益 6,569 +149 → 6,718

経常費用 14,028 +267 → 14,295

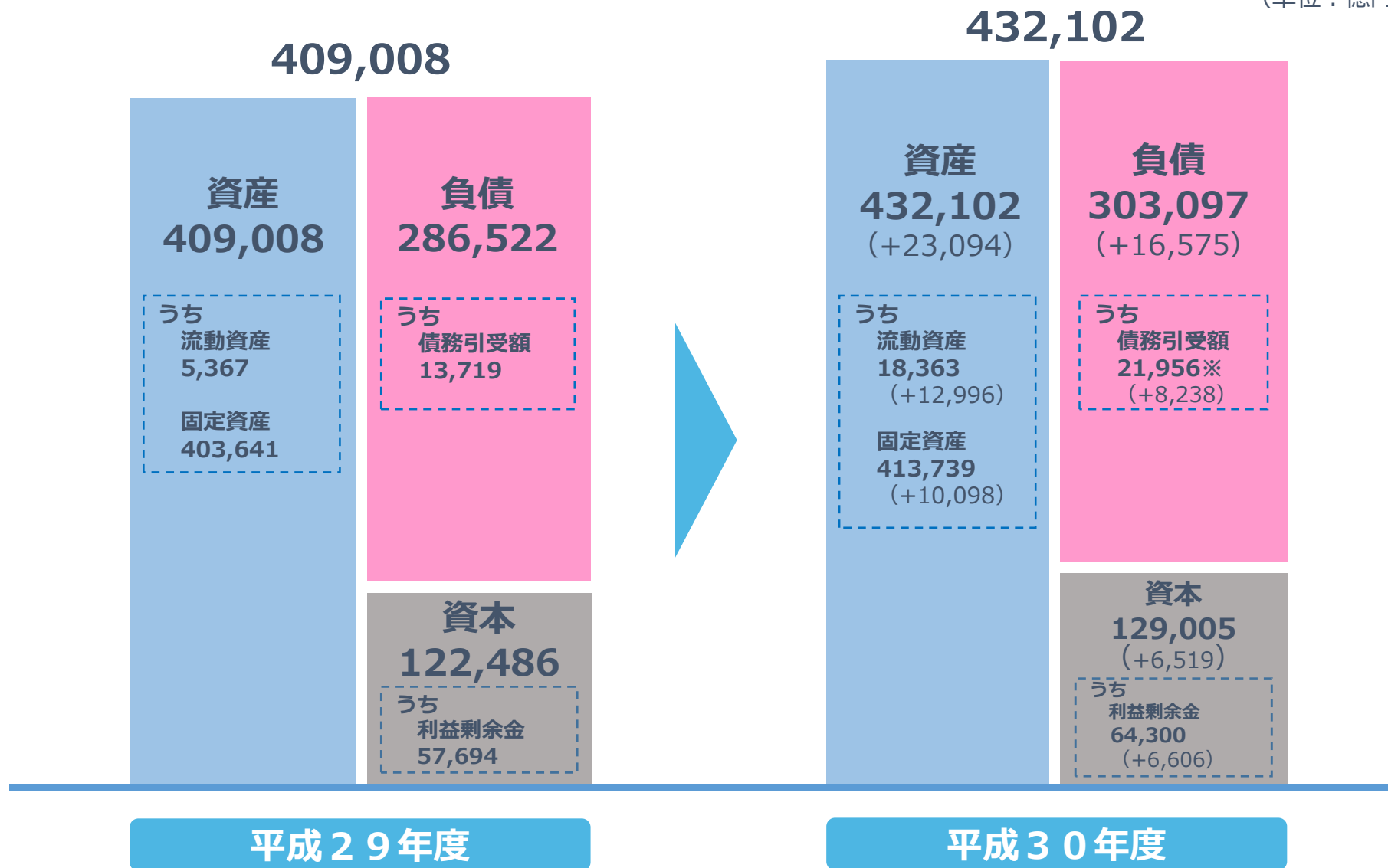


平成29年度

平成30年度

貸借対照表の前年比較

(単位：億円)



※金額は、法人単位財務諸表（PDF）の
長期借入金及び機構債の明細（16ページ目）に掲載しています。